

寒さのなかにも春の気配を感じるようになりました。寒さに強いワン達と違い人間には辛い季節でしたが皆様お元気に冬を過ごされましたでしょうか？ 日毎に日差しが暖かく、柔らかくなり、冬の固まりがほぐれていく季節。生き物への天からの恵みを感じます。素敵な季節を動物家族と一緒に謳歌なさってください。

平成24年3月5日

お知らせ

ワンコには何かと忙しい季節です。

3月中旬：ノミ・ダニ予防開始（ニャンコも）

4月：狂犬病予防注射 昨年、接種を受けている子には3月半ばに保健所から葉書が届きます。

6月末までに接種しましょう。

4月～5月半ば：フィラリア検査と予防 フィラリア予防薬の飲ませていただくのは5月半ば過ぎからです。

検査は4月にはいれば有効ですので、ご予約下さい。



健康トピックス

花粉症・アレルギー 花粉症の方にとっては辛い季節ですね。よく「イヌやネコに花粉症はあるの？」というご質問を受けます。あるとないとも言えます。アレルギー体質の場合、スギ花粉に反応を起すことはありますが、今のところ人間のような大流行はありません。ですが近年、環境・食生活の変化で、ペットでもアレルギーが問題になってきています。体質的な要因が関与している、原因の特定がむずかしいなどの理由で、治療は長くかかり、完治が難しいケースもあります。飼い主・獣医師が協力し、焦らず、根気よく取り組んでいかなければならない問題でしょう。

抜毛 ワンニャンも衣替えの季節ですが、人間のように簡単にはいかず時間をかけて夏仕様の装いに変わっていきますが、人間のお手伝いが必要です。まめにブラッシングをして抜毛を取り除いて下さい。抜毛がいつまでも残ると皮膚炎を起こす原因になります。毛質によって最適なお手入れの仕方も異なります。ご質問がありましたらスタッフにお尋ね下さい。

■ ノミダニ予防薬 ■

ノミダニは犬猫に痒み・皮膚病をおこすだけでなく、人間も罹患する病原体を媒介します。もしお家の中にノミダニを持ち込んでしまうと、お家はあっという間に彼らの楽園と化してしまいます。家族みんなのために予防をお勧めします。予防薬を投与することにより100%近くの予防効果を期待できます。以下にノミダニの予防薬について詳しくお話ししたいと思います。

ノミダニ予防薬ってなに？

いろいろなメーカーから発売されていますが、いずれもノミダニに対し殺虫、発育阻害効果があり、かつ犬猫には害のない成分を含む薬です（メーカーによって主成分は異なります）。皮膚につけるスポットタイプと昨年発売された内服タイプのものがあります。毎年春が近づくと、新製品を含めた中からどの製品を皆様にお勧めするか検討いたします。

* 当院で取り扱う主な製品の比較をご参考までに下記の表にまとめてみました。選択に迷われたときはお気軽にスタッフにご相談下さい。

いつから投薬するの？

ノミダニは一年を通じて屋外に生息していますがその活動が盛んになるのは春～晩秋にかけてです。予防薬の製造メーカーでは通年投与を推奨していますが、実際に皆様のワンニャンの生活スタイルを拝見していると、気温13℃くらいになる3月

半ばから投薬を始めればよろしいのではないかと思います。（* 効果発現まで余裕を持って3日はみて下さい）

ただし次のような子は通年投与をお勧めします。

山にお散歩に行く子・公園などの草むら大好きな子・庭に野良猫さんがよく来るお家の子 etc

マーケットでも売っていますが？

市販されている滴下タイプのもは、作用・使い方、ほとんど同じようですが、大きな違いは、病院取扱のものは医薬品、お店のものは医薬部外品ということです。これについて簡単に説明すると・・・

医薬品 — 配合されている有効成分の効果が認められており、病気の予防や治療に使われるクスリを指します。

医薬部外品 — 効果そのものは、誰にも必ず認められるというものではなく、効果が期待できるという範囲のもの。

効くかもしれないし、効かないかもしれない、といったところです。また、獣医師の立場から言うと、副作用等の臨床データーが公表されていないのが気がかりです。

★ミニ知識 ノミアレルギー性皮膚炎

私たちが蚊に刺され、その部分が腫れてて痒いッ、というのと同じような状態がワンニャンがノミに刺されると起こります。これを専門的には「ノミ刺症」といいます。ノミアレルギー性皮膚炎はこれとは別の病気です。全身の反応として、非常に強い痒みや炎症が起こりますが、少量のアレルゲンでひきおこされる場合が多く（少数のノミに少ない回数しか刺されていないということ）、ノミ自体を発見することが困難です。痒み・炎症の原因が特定できず診断がつきにくい病気です。知らないうちにノミにさされこの皮膚炎を起こす可能性も大いに考えられます。やはりノミ予防は大切です。

● ノミダニ予防薬比較表 ●

| | コンフォティス | プラクティック 犬 | マイフリーガード | レボリューション 猫 |
|---------------|-----------------------------|-------------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| ノミの卵・幼虫に対する効果 | なし | なし | なし | あり |
| ダニに対する効果 | あり | やや弱（82.9%） | あり | 表記なし |
| 投与前シャンプー制限 | なし | なし | 2日 | なし |
| 投与後シャンプー制限 | なし | 1日 | 2日 | 2時間 |
| 効果発現までの時間 ノミ | 30分～4時間 | 半日～1日 | ～1日 | ～1日 |
| 効果発現までの時間 ダニ | 3日～1週間 | 1日～2日 | 犬:3日 猫:2日 | |
| 1回の使用量（小さい子で） | | 0.45ml（S 1.1ml） | 0.67ml | 0.75ml |
| 有効成分 | スピオサド 30mg/BW1kg | ピリプロール | フィプロニル 100mg/ml | セラメクチン 60mg/ml |
| 主な特徴 | 内服タイプです。滴下タイプにはないメリットがあります。 | アルコール分を含まず低刺激性です。耐性の心配がありません。 | フロントラインのジェネリック品です。他に比べ低価格です。 | 毒性が低く、短時間で乾きます。耳ダニ等にも効果があります。 |

■ お泊りのこと ■

ホテルでお預りする子達をみていると、その様子は十人十色です。飼い主さんから伺うお家での様子とまったく同じような態度の子もいれば、おそらく飼い主さんの知らないだろう顔を見せる子もいます。ホテル中は朝晩の食事と一日2～3回の外出が基本的なスタイルです。そのあたりのみんなの様子をお知らせします。

食 事

アツという間に完食してしまう子からほとんど何も食べない子まで様々です。健康状態に問題の無い子であれば、数日間は何も食べなくても大丈夫なので特別なことはしません。一般状態に異常が見られず、おやつをあげてみて食べるようなら心配ないと判断します。特別な物をあげたりすると、せつかくのお家でのしつけをこわしてしまったり、胃腸に負担をかけたたりし

ます。長期のお預りで、全く食べない日が続くと、猫の缶詰で匂い付けをしたり、お湯をかけたり、食欲を刺激するような工夫をします。

● こんな子がいます・・・

- ・ お家では食欲大魔神といわれているのに食事をしません。
→ 飼い主さんが思う以上に繊細な神経の持ち主なのでしょう。食欲よりも環境の変化による緊張の方が強いのです。
- ・ お家ではドライフードを食べないけれどお泊りの時は食べます。
→ 賢いのでしょう。ここではフードより美味しい物はでてこない、とわかっているのだと思います。
- ・ ケージの中ではまったく食事をせず、ケージから出たの食事だと完食します。
→ ケージの中というのはワンコにとっては普段の環境とかなり異なり緊張するのでしょう。
- ・ 美味しいねえ、などと声をかけながら撫でてしていると食べます。(ほとんどニャンコです)
→ おそらく人に撫でられることで緊張がほぐれるのでしょう。なぜこのパターンがみられるのが猫なのかはよくわかりません。犬の場合は人に触られるのが好きな子だと、食事より、「かまって」が先になってしまうためかもしれませんね。

お散歩

お散歩に関するいろいろなタイプの子がいます。次の3タイプはだいたい同じくらいの割合のような気がします。

- ・ お散歩大好き。“スタスタ歩き派”と“臭いかぎ派”がいます。
- ・ 用(トイレ)がすんだら帰りたい。
- ・ お散歩は行きたくない。お散歩は好きだが知らない人、知らない場所は嫌だから、または、お散歩自体が嫌い。

● こんなこともあります・・・

- ・ お外に行きたがらない子でも病院の中では楽しそうに走り回る子が多いです(院内散歩と言っています)。
そして病院の猫が気になりストーカーする子も結構いるんです。
- ・ 病院から円海山に向かったの道はイヤ、道路沿いの歩道ならOKという子が小型犬に多くいます。おそらく山沿いの道は普段のお散歩コースと雰囲気が違うのでいやなのでしょう。

マイワールド・マイペースな子、病院好きで、結構、楽しく過ごす子もいますが、知らない場所でケージの中、大好きな家族はそばにいないし・・・ こんな気持ちの子も多いのではないかと思います。

家族以外の人間と付き合えるように、ケージの中で一人でいられるように。ドライフードをちゃんと食べられるように。日頃こんなことを頭において過ごしていただければ、いざという時に我が子のストレスを少しでも減らしてあげられるのではないかと思います。

編集後記



金ちゃんです！

2月は一年でもっとも病気、お泊りが少ない時期です。のんびり過ごさせていただきました。
先日、私の猫が突然に顔を腫らせました。おかげ様で3日ほどで戻りましたが、原因はまったく不明です。直接、本人(犬猫)に問診をすることが出来ない動物の変化は「わからない」ということが多々あります。口がきけたらどんなに良いでしょう。でも「病院は嫌い！」なんて、これは困りますが。病院の玄関脇にいる守り神“銀ちゃん”。お目にとめて下さる方も多く、よく素性についてお尋ねをうけますが、生い立ちは不明なのです。オークションにでていた銀ちゃんに、院長が一目惚れして当院に迎えました。ちなみに私の守り神は“金ちゃん”。目下、グリーンジャンボ宝くじを背負わせ、日々、当選祈願しております。(年末ジャンボは祈りが足りなかったせいか当たりませんでした)。体調を崩しやすい時期です。皆様のご自愛のほどお祈り申しております。

